

卒業論文公開発表会を行いました

1月17日(金)庄原市ふれあいセンターコパリホールにおいて、令和元年度卒業論文公開発表会を開催しました。

公開発表会は、2年生の卒業論文の中から優れた内容のものを発表することで、本校の学習活動や成果について外部の方に知っていただくためのものです。

今回、6名の2年生が本校の代表として発表し、市内・県内の農業者や農業関係者、農業高校生など約100名の方に聴いていただきました。

最後に、県農林水産局農業技術課 堀田参事より、「2年間の経験や努力が、論文からみることができた。自分でとりまとめ発表したことは貴重な体験であり、今後の社会人生活に役立ててほしい。」と講評がありました。

《発表者及び課題名》(発表順)

- 近藤 大稀 「トマトの1～5段目の着果数制限が6段目以降の収量に及ぼす影響」
- 筒井 花厘 「7月出荷トルコギキョウの種子冷蔵無処理・電照処理が生育及び切り花品質に及ぼす影響」
- 西本 真啓 「シュッコンカスミソウの摘心時期の違いが開花時期と品質に及ぼす影響」
- 山添 雄己 「モモのポット苗での育苗方法の違いが優良な側枝の確保に及ぼす影響」
- 丸井 颯一朗 「ビール粕の給与が肥育牛の生育に及ぼす影響」
- 山中 理子 「飼料設計の違いが子牛の発育に及ぼす影響」
- ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。

